

徳富蘇峰(本名猪一郎)氏
(昭和30年1月1日表彰)

近世日本の先覚者。また、'世界に
稀な優れた思想家であった。
熊本在住中は、白川新聞、熊本新
聞等を発刊。大江義塾の創始者と
して子弟の教育に専念し、その啓
蒙的影響が大であった。
文久3年1月25日生れ、
昭和32年11月2日死去、94歳。



高橋守雄氏
(昭和30年1月1日表彰)

第7代熊本市長として、歩兵23
連隊の移転・市電・上水道の開設
の三大事業を完遂、市の近代化、
発展繁栄に尽した。また、教育者
として熊本商大、短大学長を歴任、
郷土教育の振興育成に努力した。
明治16年1月1日生れ、
昭和32年5月3日死去、73歳。



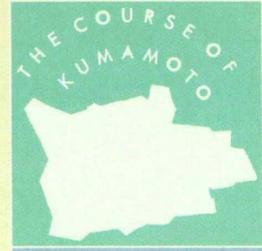
細川護立氏
(昭和35年4月1日表彰)

肥後旧藩主細川家16代。有斐学舎
舎長、肥後奨学会設立、多額の奨学
金を出資して本県出身学徒の育成
援護に尽した。国の文化財保護委
員会委員として、本市の重要文化
財、史跡、名勝等の保存活用に貢献。
明治16年10月21日生れ、
昭和45年11月18日死去、87歳。



福田令寿氏
(昭和35年4月1日表彰)

医師開業のかたわら、医専五高等
で教鞭をとり子女の教育に専念の
外、社会文化、社会福祉の要職を
歴任、郷土の文化・福祉の向上発
展に尽した。清廉・潔白な人格者
であった。
明治5年12月7日生れ、
昭和48年8月7日死去、100歳

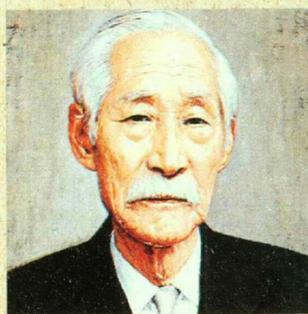


**熊本市の
あゆみ**

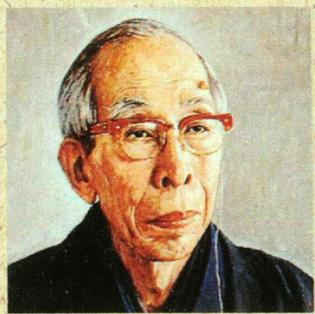
熊本は、昔から「火の国」と呼ばれてきました。大化の改新
のあと、奈良時代に入って現出水校区内に国府がおかれ、ここ
を中心に聚落が形成されるようになりました。このうち、平安・
鎌倉時代を経て室町時代になると、菊池一族である出田秀信が、
はじめて熊本に千葉城を築き、数代後の城主鹿子木親員が、新
しく茶臼山に城を築いて隈本城と呼びました。
豊臣時代に入って秀吉は全国を制覇するや小西行長と加藤清
正に肥後を分領させたが、徳川の天下になると、加藤清正は肥
後54万石の領主となり、慶長6年から茶臼山に築いていた新城
を隈本城から熊本城に改めました。熊本市が町としての体制を
整えたのは、このころからです。続いて細川忠利が肥後の領主
となり、大政奉還までの二百有余年を細川家が政治を行ってき
ました。
明治10年西南の役で兵火を受け、市街地の大部分を廃墟に帰
したが、直ちに復興し、明治22年には熊本市が誕生しました。
大正から昭和にかけては隣接町村を合併しつつ熊本市の基礎を
固め、九州における政治・経済・教育の中心地として発展を続
けました。その後、昭和20年には大空襲で、終戦後の復興期に

あった28年には未曾有の大水害によって、市街地は壊滅的な被
害を受けました。しかし全市民の不断の努力によって、困難を
克服した熊本市はその後数次にわたる市域の拡大や近代的都市
機能の集積を行い、近時では平成3年2月1日、鹿毛郡の北部町、
河内町、飽田町、天明町と合併し、人口約63万人、面積約266
平方キロメートルの熊本市が誕生しました。
この合併を機に、さらなる発展を遂げ、辛島公園地下駐車場の
完成、熊本港の一部開港等都市基盤の整備を進めると共に、
平成7年には地球規模での平和と環境の保全を願い「平和都市
宣言」や「環境保全宣言」を行い、加えて環境総合センターを
オープンしました。
さらに、平成8年4月には、中核市へ移行し、開かれた市政
を目指し、情報公開制度や行政改革大綱の作成などにより、ハ
ード面だけでなく、ソフト面の充実を図ってきました。
今後は平成11年の国民体育大会のメイン会場となる市総合屋
内プールの完成や「一口城主」による熊本城の復元整備等を進
めるなど魅力あるまちづくりに取り組んでいます。

名 譽 市 民
Kumamoto's Honorary Citizens



宇野哲人氏
(昭和44年10月1日表彰)
東京帝国大学での漢学・中国哲学
の教授、東京大学名誉教授、実践
女子大学々長、名誉教授等優れた
業績は、郷土熊本の文運の興隆に、
また、我国の漢学関係の学究者に
多大の影響を与えた。
明治8年11月15日生れ、
昭和49年2月19日死去、98歳。



聖山南風(本名熊次)氏
(昭和44年10月1日表彰)
横山大観画伯等に師事し、日本画
に精進。その多くの作品の上に、
肥後の郷土色のにじみ出た芸術の
香りがよく生かされている。日本
画壇の第一人者といわれ、また、
郷土文化の進展に大きく貢献した。
明治26年9月12日生れ、
昭和55年12月30日死去、93歳。



後藤是山(本名祐太郎)氏
(昭和54年10月1日表彰)
元九州日日新聞社主筆。生来の文
人墨客の性格と豊かな文筆で、数
多くの郷土史を編さん監修、先人
についての研究著述があり熊本の
文化の啓蒙に尽した。「明星」同人、
句誌「かはがらし」(後の東火)を
主宰した。明治19年6月8日生れ、
昭和61年6月4日死去、99歳。



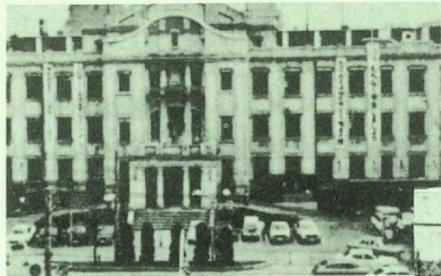
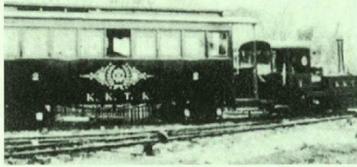
中村汀女(本名破麗)氏
(昭和54年10月1日表彰)
高浜虚子の門下生で、現代女流俳
句の第一人者。常にふるさとを愛
する心を底流にした「汀女俳句」
は、氏の人柄と句にふれる人々に、
郷土愛を喚起させ、郷土の文化振
興に貢献。「ホトトギス」同人、「風
花」を主宰した。明治33年4月11日
生れ、昭和63年9月20日死去、88歳。

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
大化	2(646)	砂取付近に肥後の国府および兵力4軍団が設置	明	7月	第五高等中学が古城から黒髪に移転	元号	29(1896)	夏目漱石が五高に着任、熊本を森の都と称賛	元号	29(1896)	夏目漱石が五高に着任、熊本を森の都と称賛
文明	1(1469)	菊池氏の一族、出田秀信千葉城を築く	明	10月	私立医学校が設立	元号	31(1898)	熊本専売支局が黒髪町に葉煙草専売所設置	元号	31(1898)	熊本専売支局が黒髪町に葉煙草専売所設置
明応	5(1496)	鹿子木親員、古城に居城を移し、隈本城と称する	明	10月	フランス人、ジョン・メリー・コール神父が彌救済の徒勞院を設立	元号	1月	この年、市立避病院設立(後の白川病院)	元号	10月	この年、市立避病院設立(後の白川病院)
慶長	6~12(1601~1607)	加藤清正、現在地に熊本城を築き、河川の築堤、井戸の掘削など行う	明	10月	鎮台花畑本堂と熊本城、現在の市民会館前から撮影したもので大小天守閣が見える。明治5年頃。	元号	10月	第23連隊練兵場が山崎町から渡鹿に移る	元号	10月	第23連隊練兵場が山崎町から渡鹿に移る
寛永	9(1632)	細川忠利、肥後藩主となる	明	11月	教育勅語発令(井上毅と元田永字が成案)	元号	1月	市内に大洪水、白川の橋ほとんど流失し、子飼橋付近溺死者多数	元号	11月	市内に大洪水、白川の橋ほとんど流失し、子飼橋付近溺死者多数
宝暦	4~6(1754~1756)	藩校時習館、医学校再春館、蕃滋園(薬草園)などが創設	明	7月	門司・熊本間の九州鉄道が開通	元号	7月	明治天皇をお迎えし、陸軍特別大演習を挙行	元号	7月	明治天皇をお迎えし、陸軍特別大演習を挙行
天明	3(1870)	古城に医学校が創設	明	11月	熊本電燈社が開業し九州に初めて電燈がとる	元号	11月	市区改正の事業と新市街の事業完成	元号	11月	市区改正の事業と新市街の事業完成
天保	4(1871)	廃藩置県により熊本県が設置	明	11月	ラフカディオ・ヘルン(小泉八雲)五高に着任	元号	11月	日露戦争勃発	元号	11月	日露戦争勃発
文久	7(1874)	鎮西鎮台(九州および中国西部を管轄)が設置	明治	25(1892)	塘林虎五郎が貧児寮(現大江学園)を設立	元号	2月	熊本高等工業学校設立	元号	25(1892)	塘林虎五郎が貧児寮(現大江学園)を設立
明治	10(1877)	九州最初の新聞、白川新聞発行	明治	7月	孤児・貧児の養育を目的とした天使園が設立	元号	3月	夏目漱石が「草枕」を発表	元号	7月	孤児・貧児の養育を目的とした天使園が設立
明治	19(1886)	西南の役、市街地の大半が兵火により焼失	明治	8月	日清戦争勃発	元号	3月	熊本高等工業学校設立	元号	8月	日清戦争勃発
明治	20(1887)	熊本通信管理局(郵務・電務関係)が設置	明治	11月	イギリス人ハンナ・リデル女史が回春病院設立	元号	9月	夏目漱石が「草枕」を発表	元号	11月	イギリス人ハンナ・リデル女史が回春病院設立
		第五高等中学校(九州に1校)が創立	明治	4月	市町村制が施行され、熊本市が誕生	元号	4月	熊本市が誕生	元号	4月	市町村制が施行され、熊本市が誕生
		市域面積5.55km ² 、人口42,725人、戸数11,795戸、市議会議員数30人、市職員48人	明治	6月	赤十字社熊本支部設立	元号	4月	市域面積5.55km ² 、人口42,725人、戸数11,795戸、市議会議員数30人、市職員48人	元号	6月	赤十字社熊本支部設立
		新南千反畑町、現在の白川公園前に市役所が開庁	明治	7月	新南千反畑町、現在の白川公園前に市役所が開庁	元号	6月	新南千反畑町、現在の白川公園前に市役所が開庁	元号	7月	新南千反畑町、現在の白川公園前に市役所が開庁



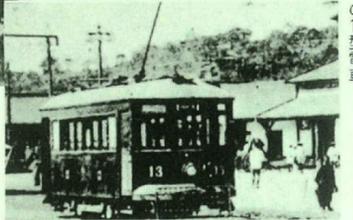
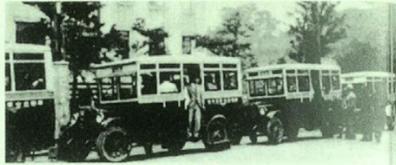
明治34年に市内の電話が開通した。交換手の白い上衣、紫袴は当時の女性の憧れだった。

軽便鉄道。
K.K.T.Kは熊本軽便鉄道株式会社の略。



大正12年12月、市役所新庁舎完成。

昭和2年12月から17台の市営バスが走り始めた。(写真は昭和8年6月)



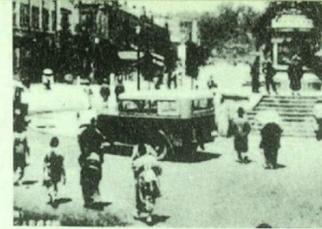
大正13年8月1日市電開通。救助網がついている開通当時の13型電車。



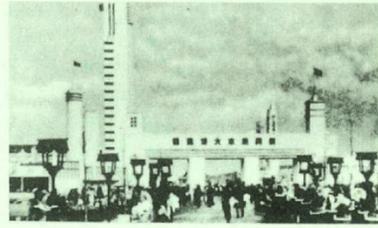
旧熊本城南大手入口の下馬橋。明治35年11月の陸軍大演習の際、行幸坂、行幸橋が造られ姿を消した。



昭和4年7月に水前寺動物園が開園。



昭和5年10月 市公会堂新館が開館
昭和43年市民会館の出現に伴い取りこわされた。



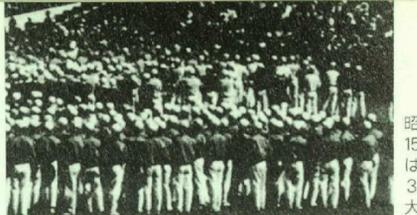
昭和10年3月から5月にかけて開かれた新興熊本大博覧会



「昭和28年6月26日」大水害の惨状。至る所泥の山。流失した家財などで復旧に多くの人手、資材と日数を要した。(上通り筋)



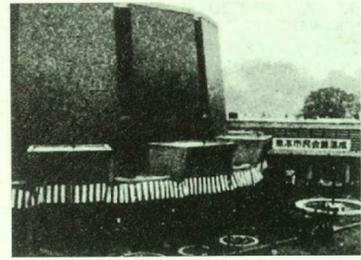
昭和35年9月、83年ぶりに熊本城天守閣が再建された。



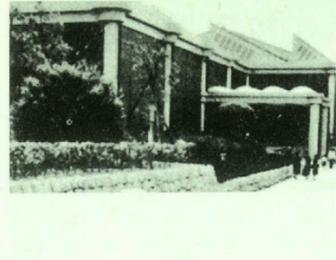
昭和35年10月、第15回国民体育大会は、全国から1万3千人が集まり盛大に開催された。

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと						
明	40(1907)	熊本軽便鉄道株式会社が安巳橋・水前寺間に軽便鉄道を敷設	大	11(1922)	春竹・大江・本山) 熊本市立実科高等学校が熊本市立高等学校となる	昭	20(1945)	市営勤業館が新市街に開館	和	17(1942)	九州日日新聞と九州新聞が統合され、熊本日日新聞が発足						
	41(1908)	人力車争議おこる		4月	熊本市立実科高等学校が熊本市立高等学校となる		6(1931)	市公会堂新館が開館		12月	市立本荘産院が発足						
	42(1909)	鹿児島本線全線開通		5月	熊本医学専門学校が医科大学に		7月	市民登録制度を実施		7月・8月	空襲で市の大半が焦土と化す	8月	終戦の記書放送				
	43(1910)	薬学専門学校発足		12(1923)	手取本町に市役所新庁舎完成		8月	国民年金制度発足		8月	天皇后陛下をお迎えし、熊本平野等で陸軍特別大演習を挙げる	21(1946)	市立市民病院発足				
	44(1911)	女子師範学校発足		12月	市営電車開通(車両15台)		9月	田迎村、御幸村を市に合併		2月	失業救済の土木事業開始	2月	日本国憲法公布(新憲法) 学校給食開始				
	44(1911)	熊本ガス株式会社が開業		8月	一ト大甲橋を架設		12月	池上村、高橋村、城山村を市に合併		4月	画図村を市に合併	4月	市長、県知事が初めて公選で決まる				
	44(1911)	市立実科高等学校開校		11月	熊本市水道完成		3月	花園市営墓地開設		4月	花園市を市に合併	4月	国民学校が小学校に、また新制中学が誕生				
	44(1911)	市立工業徒弟学校開校		14(1925)	市三大事業(市電、上水道、23連隊移転)完成		10(1935)	新築熊本大博覧会を開催		5月	新築熊本大博覧会を開催	5月	憲法、地方自治法施行				
	44(1911)	菊池軌道株式会社が熊本・広町間敷設		4月	長六橋を近代式鉄橋に架け替える		11(1936)	健軍村を市に合併		3月	市消防本部設置	3月	市立母子寮を開設				
	44(1911)	この年、熊本軌道が田崎・百鬼港、田崎・高麗門に開通		2(1927)	市営バス発足(バス17台)		4月	清水村を市に合併		4月	市自治警察本部設置	4月	市自治警察本部設置				
大	2(1913)	この年、熊本軌道が田崎・百鬼港、田崎・高麗門に開通	昭	2(1927)	この年、市及び市付近の人力車812、乗用馬車4、自動車115	昭	23(1948)	市消防本部設置	和	33(1958)	NHK熊本テレビ開局						
	3(1914)	第1次世界大戦はじまる		3(1928)	第16回総選挙、最初の普通選挙行われる		15(1940)	川尻町、日吉村、力合村を合併		3月	市電30年記念「交通観光博覧会」を開催	4月	松尾村を市に合併				
	7(1918)	全国に米騒動		6月	NHK熊本放送局でラジオ初放送		12月	この年、市営バスに木炭車登場		4月	「火の国まつり」開始	4月	「まちをキレイにする運動」がはじまる				
	9(1920)	第1回国勢調査で、市人口70,388人		9月	御大典記念事業として、陸上競技場・野球場が完成		16(1941)	太平洋戦争勃発		4月	市立実務員養成所(後の実務商業)を開設	4月	戸島町に市斎場開設				
	10(1921)	隣接11カ町村を合併、人口133,467人、戸数23,819戸の大熊本市が発足(黒髪・池田・花園・島崎・横手・春日・古町・本荘)		4(1929)	水前寺動物園が開園		17(1942)	九州日日新聞と九州新聞が統合され、熊本日日新聞が発足		4月	天皇皇后陛下ご来熊	4月	市食肉センター開所				
	正	40(1907)		熊本軽便鉄道株式会社が安巳橋・水前寺間に軽便鉄道を敷設	和		4(1929)	熊本市歌を制定		昭	24(1949)	市立図書館発足	和	41(1966)	西部清掃事業所開所		
		41(1908)		人力車争議おこる			3月	市電気局が市交通局と改称			25(1950)	朝鮮戦争勃発		9月	市民相談室を設置	10月	熊本保健所が九品寺1丁目に新装発足
		42(1909)		鹿児島本線全線開通			5月	熊本市歌を制定			26(1951)	市電気局が市交通局と改称		7月	市競輪事業開設	42(1967)	第30回選抜高校野球大会
		43(1910)		薬学専門学校発足			3月	熊本市歌を制定			26(1951)	市電気局が市交通局と改称		7月	熊本女子大学創設		
		44(1911)		女子師範学校発足			3月	熊本市歌を制定			26(1951)	市電気局が市交通局と改称		7月	市立熊本保健所を上林町に開設		
44(1911)		熊本ガス株式会社が開業	3月	熊本市歌を制定		26(1951)	市電気局が市交通局と改称	7月	市立熊本保健所を上林町に開設								
44(1911)		市立実科高等学校開校	3月	熊本市歌を制定		26(1951)	市電気局が市交通局と改称	7月	市立熊本保健所を上林町に開設								
44(1911)		市立工業徒弟学校開校	3月	熊本市歌を制定		26(1951)	市電気局が市交通局と改称	7月	市立熊本保健所を上林町に開設								
44(1911)		菊池軌道株式会社が熊本・広町間敷設	3月	熊本市歌を制定		26(1951)	市電気局が市交通局と改称	7月	市立熊本保健所を上林町に開設								
44(1911)		この年、熊本軌道が田崎・百鬼港、田崎・高麗門に開通	3月	熊本市歌を制定		26(1951)	市電気局が市交通局と改称	7月	市立熊本保健所を上林町に開設								

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	
昭	4月	市教育研究所を設置	昭	3月	出水町に県庁新庁舎が完成	昭	50(1975)	身体障害者福祉モデル都市に指定される	和	43(1968)	市民会館開館	
	27(1952)	市立博物館開館		4月	熊本市立動物園が完成し、「熊本動物大博覧会」を開催		1月	市民会館開館		9月	南千反畑町に中央老人福祉センターが完成	
	1月	住民登録制度を実施		5月	愛市憲章を制定		4月	市社会教育会館が開館		9月	市立金峰山少年自然の家が開所	
	7月	国民年金制度発足		8月	熊本城天守閣再建完成		10月	市立英学奨励制度創設		10月	市立金峰山少年自然の家が開所	
	28(1953)	田迎村、御幸村を市に合併		8月	熊本城天守閣再建完成		4月	熊本(水辺)動物園が完成し、「熊本動物大博覧会」を開催		4月	熊本(水辺)動物園が完成し、「熊本動物大博覧会」を開催	
	4月	豪雨、大水害で市人口の66%が罹災		9月	第15回国民体育大会を開催		5月	熊本市章きまる		51(1976)	「地下水保全都市」を宣言	
	6月	池上村、高橋村、城山村を市に合併		12月	西保健所を開設		8月	熊本市章きまる		3月	「地下水保全都市」を宣言	
	7月	市立図書館発足		37(1962)	天守閣再建記念「躍進熊本大博覧会」開催		11月	託麻村を市に合併		昭	52(1977)	西南の役百周年記念式典を行う
	10月	ラジオ熊本開局		46(1971)	新熊本空港開設		4月	新熊本空港開設		4月	西南の役百周年記念式典を行う	
	29(1954)	市自治警察廃止		47(1972)	市総合計画策定(マスタープラン)		5月	市勤労青少年ホーム開館		5月	熊本市人口が50万人を突破	
和	4月	市立母子寮を開設	和	10月	「森の都」を宣言し、森の都作戦を展開	和	53(1978)	新しい熊本博物館が開館	和	30(1955)	松尾村を市に合併	
	10月	秋津村を市に合併		12月	秋津下水処理場が完成		4月	東部清掃工場完成		4月	東部清掃工場完成	
	3月	市電30年記念「交通観光博覧会」を開催		12月	秋津下水処理場が完成		7月	東部保健センターが開所		7月	東部保健センターが開所	
	4月	市立図書館発足		1月	戸島町に市斎場開設		9月	九州縦貫自動車道(熊本・植木間)開通		9月	九州縦貫自動車道(熊本・植木間)開通	
	6月	市自治警察廃止		5月	学校給食東共同調理場が完成		7月	熊本市基本構想きまる		53(1978)	熊本市基本構想きまる	
	10月	秋津村を市に合併		49(1974)	勤労婦人センターを本山町に開設		4月	市総合計画策定(マスタープラン)		47(1972)	市総合計画策定(マスタープラン)	
	30(1955)	松尾村を市に合併		10月	「まちをキレイにする運動」がはじまる		4月	市総合計画策定(マスタープラン)		47(1972)	市総合計画策定(マスタープラン)	
	4月	市立図書館発足		12月	東部汚水処理場完成		10月	「まちをキレイにする運動」がはじまる		47(1972)	市総合計画策定(マスタープラン)	
	4月	市立図書館発足		12月	東部汚水処理場完成		12月	秋津下水処理場が完成		47(1972)	市総合計画策定(マスタープラン)	
	29(1954)	市自治警察廃止		12月	東部汚水処理場完成		48(1973)	戸島町に市斎場開設		48(1973)	戸島町に市斎場開設	



昭和43年1月6日市民
会館が完成。一、八〇
〇人収容の大ホールと
各種の会議室を備えた
近代建築。



郷土熊本に根ざした西日本
一を誇る熊本博物館が昭和
53年4月1日に開館した。



平成2年4月、総合婦人
会館・カルチャーセンタ
ーオープン。



昭和46年6月、熊本・植木間の
高速自動車道が開通した。



昭和56年3月、産業文化
会館が完成



昭和56年11月
新市庁舎完成。



平成2年6月、水資源
国際会議が開催



平成2年10月
「水の科学館」
が開館。



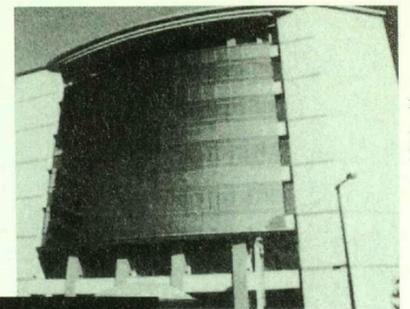
平成3年2月
熊本市と飽託郡四町が合併



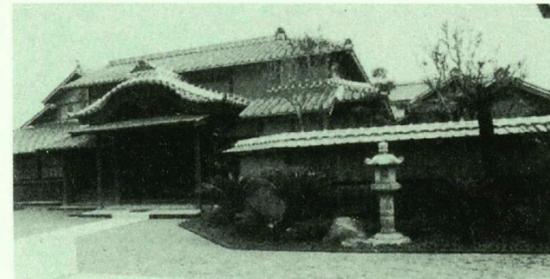
平成3年7月、「くまもと
工芸会館」がオープン。



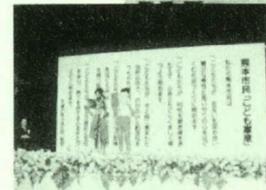
平成5年3月、熊本港一部開港



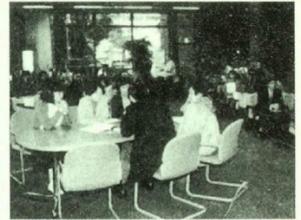
平成6年9月、国際交流会館
オープン



平成5年9月、
大名屋敷・旧細川刑部邸完成



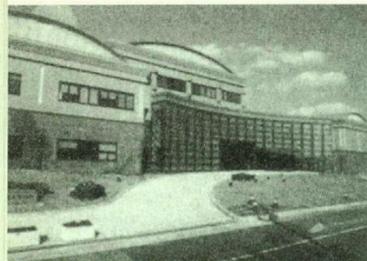
平成6年9月、
「市民子ども憲章」を制定



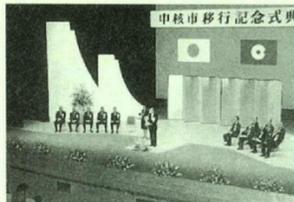
平成7年4月、市民交流サロンオープン

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと			
昭	56(1981)	きまる	昭	8月	秋津市民センター完成	平	8月	花園市民センターがオープン	成	8月	花園市民センターがオープン			
	1月	熊本市保健衛生研究所開設		10月	くまもと緑化祭・地場産業振興フェア開催		8月	市民長寿社会憲章制定						
	2月	熊本城西大手櫓門復元完成		1月	熊本市自転車駐輪場完成		9月	平成学園オープン						
	3月	産業文化会館が開館		3月	電子計算システム始動		10月	「水の科学館」が開館						
	5月	託麻市民センター完成		4月	西部清掃工場完成・東部清掃事業所開所		3(1991)	市制施行100周年「熊本百彩」開幕						
	7月	熊本市総合計画基本計画きまる		7月	総合体育館・青年会館開館		2月	熊本市と飽託郡四町が合併						
	11月	新市庁舎建設完成		8月	第4回全国都市緑化くまもとフェア開催		3月	熊本市基本構想策定						
	和	57(1982)		幸田市民センター完成	和		10月	10月1日を「市民健康の日」と制定		4月	五福地域開発センターが落成	成	5月	本荘犬刈線立体交差開通
		6月		北部保健センター開設			8月	金糸猴一般公開		6月	南部総合スポーツセンターがオープン			
		7月		小楠記念館完成			9月	宇土橋・数寄屋丸二階御広間完成		7月	天明コミュニティセンターがオープン			
11月		青少年野外活動センター完成	9月	動物資料館完成		7月	くまもと工芸会館がオープン							
11月		市図書館完成	7月	南部市民センター開設		9月	台風19号来襲							
58(1983)		龍田体育館完成	9月	西消防署が移転新築		10月	動植物園がオープン							
4月		扇田埋立処分場供用開始	10月	教育センターオープン		10月	熊本市総合計画基本計画策定							
59(1984)		市の鳥としてシジュウカラ制定	12月	第1回熊本緑化祭開催		3月	政治倫理条例制定							
5月		扇田埋立処分場供用開始	12月	米田・サンアントニオ市と姉妹都市締結		4月	「総合婦人会館・カルチャーセンター」がオープン							
7月		清水市民センター完成	63(1988)	1月		くまもと女性フォーラム'88開催	5月	武蔵塚公園が新たに開園						
8月	熊本市の人口が55万人を突破	2月	シルバースタジアム完成	6月	中国・桂林市、アメリカ・サンアントニオ市、ドイツ・ハイデルベルグ市を迎え									
10月	消防新庁舎完成	4月	大阪事務所オープン	7月	「水資源国際会議」を開催									
60(1985)	6月	母子福祉センター完成	8月	江津湖まつり(マイソン										

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
平	5(1993)	8月	平	8月	交通・水道事業70周年記念式典	平	8月	尼崎市と災害時相互応援に関する協定調印式	成	10(1998)	環境情報表示板運用開始
	2月	辛島公園地下駐車場が完成		9月	熊本市行政改革大綱策定		1月	熊本市情報公開条例制定			
	3月	環境総合計画まとまる		11月	国際交流会館がオープン		3月	熊本市情報公開条例施行窓口開設			
	3月	熊本港が一部開港		11月	「市民子ども憲章」を制定		4月	熊本市防犯マップ作成			
	8月	保田産放水路完成		7(1995)	福井市と姉妹都市締結		6月	熊本市防災マップ作成			
	成	10月		新熊本市史発刊	1月		兵庫県南部地震第1次災害救援隊派遣	7月		熊本市防犯マップ作成	
		10月		大名屋敷・旧細川刑部邸が完成	3月		子ども文化会館オープン	9月		総合屋内プール(アクアドームくまもと)完成	
		10月		駐車場案内誘導システムがスタート	4月		健軍文化ホールオープン	10月		熊本市防犯マップ作成	
		10月		「火の国フェスタ・くまもと'93」が開幕	5月		いじめ110番業務開始	11月		熊本市防犯マップ作成	
		10月		透明ごみ袋によるごみ出し制度スタート	9(1997)		市民交流サロンオープン	1月		熊本市防犯マップ作成	
10月		ゆうあいピック熊本大会開催	2月	武蔵塚駅前自転車駐輪場オープン	2月	熊本市防犯マップ作成					
10月		熊本市総合計画基本計画策定	5月	日吉東小学校完成	5月	熊本市防犯マップ作成					
10月		高規格救急車が消防局に配備	6月	環境総合センターオープン	9月	熊本市防犯マップ作成					
10月		熊本市周遊バスがスタート	9月	環境保全都市を宣言	11月	熊本市防犯マップ作成					
10月		ハイデルベルク市との友好都市締結の調印式	11月	高齢者世話付住宅出水団地完成	12月	熊本市防犯マップ作成					
10月	上高橋団地が完成	12月	熊本市人口65万人突破	11(1999)	熊本市防犯マップ作成						
10月	平成駅の開業	8(1996)	1月	熊本市人口65万人突破	3月	熊本市防犯マップ作成					
10月	熊本市総合計画基本計画策定	1月	第1回熊本県消防広域応援合同訓練	3月	熊本市防犯マップ作成						
10月	熊本市周遊バスがスタート	6月	老人保健福祉計画を策定	6月	熊本市防犯マップ作成						
10月	ハイデルベルク市との友好都市締結の調印式	4月	天明総合支所庁舎が完成	8月	熊本市防犯マップ作成						
10月	上高橋団地が完成	5月	東部環境工場が完成	11月	熊本市防犯マップ作成						
10月	平成駅の開業	5月	日吉・桜木中学校が開校	11月	熊本市防犯マップ作成						
10月	熊本市総合計画基本計画策定	11月	高速消防艇「金峰」が就航								



平成7年6月、環境総合センターオープン



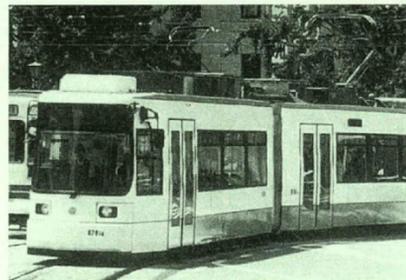
平成8年4月、
中核市移行記念式



平成9年5月、新消防司令管制システム運用開始



平成9年5月、男子世界ハンドボール選手権大会・熊本開催



平成9年8月、超低床電車運行開始
ノンステップバス運行開始



平成10年6月、
総合屋内プール(アクアドームくまもと)完成



平成10年1月、
環境情報表示板運用開始



平成10年7月、
中核市サミット'98in熊本開催



平成10年12月、
地球温暖化防止に向けた取り組みに対し
地球温暖化防止活動
大臣表彰を受賞



平成11年9月、第54回国民体育大会開催



平成11年3月、国体関連道路東西線・南北線供用開始



平成11年8月、JR鹿児島本線高架化事業完成



平成11年11月、
市制110周年記念式典



平成11年11月、
全国障害者スポーツ大会
「ハートフルくまもと大会」開催

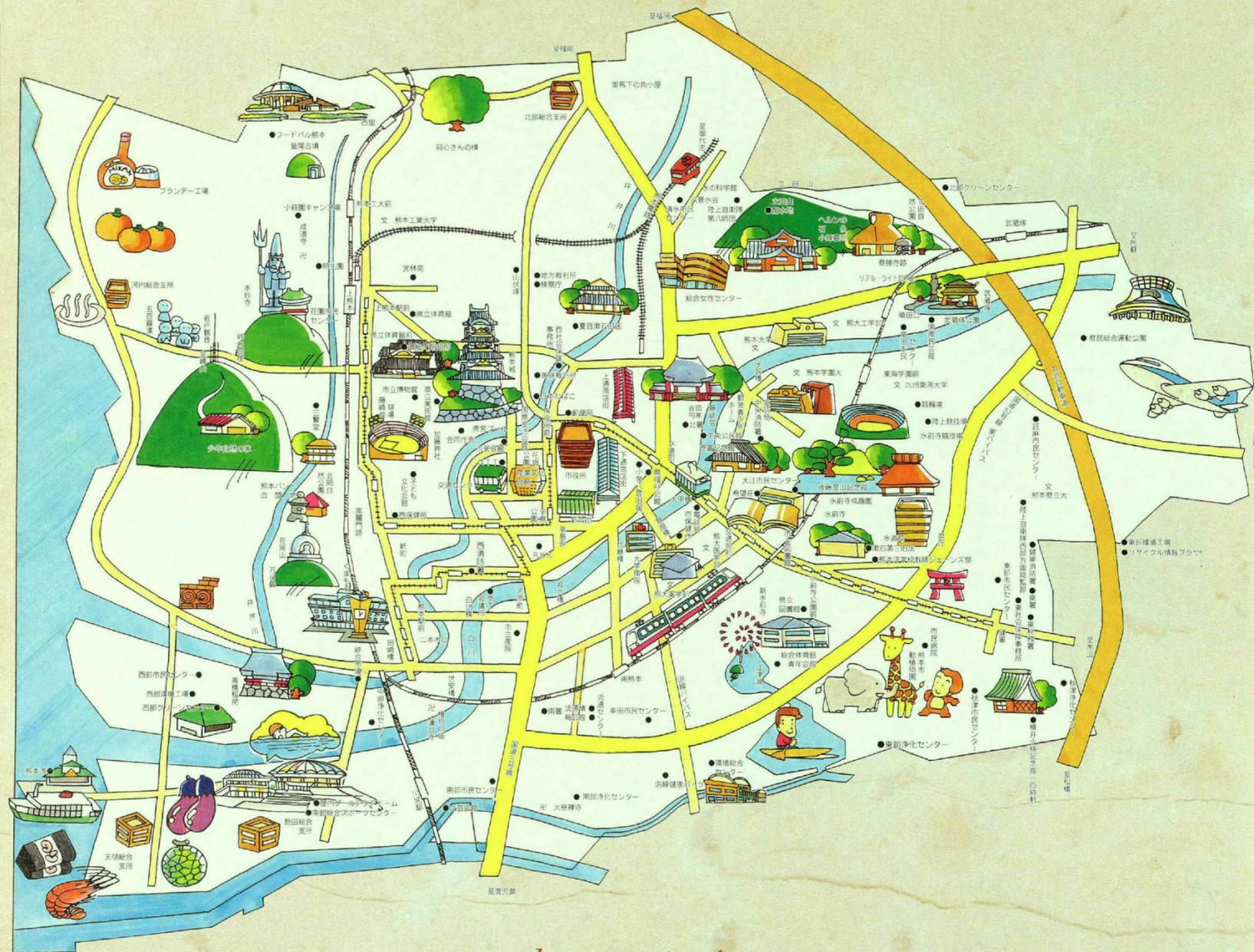
元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
平	9月	等供用開始及びJR鹿児島本線高架化事業完成 熊本市スポーツ都市宣言を熊本市議会において決議 39年振りの国民体育大会「くまもと未来国体」開催 台風18号が熊本県に上陸 市内全域に被害が広がる 市制百周年記念、熊本市・桂林市友好都市締結	平	12月	二十周年記念及び熊本市・福井市姉妹都市締結五周年記念式典を開催 全国身体障害者スポーツ大会「ハートフルくまもと」大会開催 全国マスターズ陸上競技選手権熊本大会を開催 手取本町地区第一種市街地再開発事業着工
成	11月		成		

市民の暮らし

平成11年

 世帯人口 1世帯当り2.5人	 人口密度 1km ² に2,484人	市民の暮らし 平成11年	 出生 1日につき19.0人	 死亡 1日につき12.5人
 結婚 1日につき12.2組	 離婚 1日につき3.9組		 転入 1日につき87.0人	 転出 1日につき89.4人
 乗用自動車(軽自動車を含む) 1世帯に1.0台	 犯罪 1日に28.0件	 交通事故 1日に13.8件	 市職員 市民100人に1人	 消防職員 市民1,061人に1人
 火災 1日に0.79件	 水道使用料 1日1人あたり263ℓ	 ごみ収集量 1日に898トン	 市税 市民1人当り130,052円	 市の予算 市民1人当り331,991円

(人口関係は平成11年分、予算は平成11年度当初予算額、その他は平成10年又は10年度分の数値)



kumamoto city
GUIDE - MAP

熊本市案内図

資

料

編

materials for statistics

■資料編目次

1. 気象概況	82
2. 熊本市の校区面積	
3. 推計人口・人口動態	
4. 年齢別（5歳階級）男女別人口	
5. 熊本都市圏人口	83
6. 産業大分類別事業所数・従業者数	
7. 農家数・農業就業者数・耕地面積の推移	
8. 工業の主要指標	
9. 商業の主要指標	
10. 熊本市消費者物価指数	84
11. 熊本市全世帯1か月間の平均支出	
12. 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・専修・各種学校の状況	
13. 道路状況	
14. 市内公園数及び面積	
15. 下水道状況	85
16. 医療施設	
17. ごみ・し尿収集処理状況	
18. 市民病院利用状況	
19. 市立産院利用状況	
20. 熊本市の主要死因別死亡者数	86
21. 生活保護状況	
22. 国民年金	
23. 国民健康保険給付状況	
24. 老人福祉状況	
25. 保育所の概要	87
26. J R市内駅乗客数状況	
27. 市内自動車登録台数	
28. 市営電車・市営バス利用状況	
29. タクシー及びハイヤーの登録台数	88
30. 電話の概況	
31. 郵便物取扱数	
32. 電灯・電力需要状況	
33. ガス需要状況	
34. 上水道給水状況	89
35. 交通事故の状況	
36. 刑法犯罪認知件数	
37. 火災の原因別件数	
38. 救急活動状況	
市内の主な官公庁	90